

医療介護連携 NEWS

～清田区の医療と介護の連携強化を目指して～



札幌市自立支援協議会清田区地域部会 心のチーム 清田区在宅ケア連絡会 コラボ 研修会のご報告

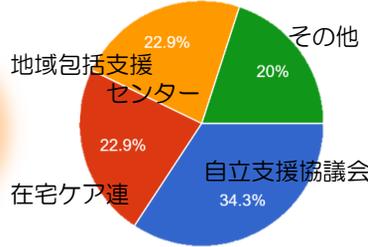
令和6年11月20日清田区で昨年につき2回目となる、自立支援協議会と在宅ケア連絡会共催の研修会が開催されました。当日は80名近くの関係者の方々が参加され、様々な意見が活発に交換されました。

自立支援協議会

障がいのある方が地域で自立した生活を送る事ができるよう、地域の障がい福祉の発展のために、中核的な役割を果たす。

在宅ケア連絡会

在宅療養にかかわる地域の専門職が保健・医療・福祉の連携を目的に活動している。



発達障がいの基本の「き」～他職種連携を見据え～

目的

発達障がいの基本の共通認識を持ち、自分や身の周りの事として考えたり、発達障がいの人や家族の支援等におけるネットワーク構築を目指す。

心のリハビリ総合支援センターとは（講師）

こころと脳の働きのリハビリテーションをする「精神科デイケア」の医療機関。統合失調症をはじめ、うつ病などの精神疾患、軽度の発達障がい、高次脳機能障がい、ひきこもりなどの社会的な適応の問題について、必要に応じたリハビリテーションを提案します。日々の生活に必要なスキルを身に付け、自信を回復し、より健康的な社会生活ができるようになるためのプログラムを行っています。



精保健福祉士 林 正賢様

発達障がいの基本

ASD（自閉スペクトラム症）

- 社会的相互交渉の障がい
- コミュニケーションの障がい
- 想像力の障がい
- 察する・空気を読む

ADHD（注意欠如/多動症）

- 多動、衝動的
- 集中できない、注意散漫
- コツコツやり遂げられない
- 順序だてて行動できない

LD（学習障がい）

- 知的発達に遅れは無い
- 聞く、読む、書く、計算、推論する能力のうち、特定の物の習得と使用が著しく困難

発達障がいの種類は、それぞれが個別で存在するというより、特性が重なり合って出ることが多い。

関わり方のポイント

良くないやり方に見えてもそれには理由がある

「自分の普通」が「相手の普通」ではない 尊重する

どんな情報が入りやすいのか 優位なのは視覚か聴覚か

良い状態、うまく循環している時は続ける変化させない

特性がある＝発達障がいではない

考え方

自分の見立ては棚上げし事実を確認

気軽に声をかけてもらえる雰囲気

関わり方

ポジティブな表現をする

見えている・感じている事が違うのが当たり前

困ってるのは誰なのか整理

「教えて欲しい」という姿勢

うまくいかない時にはこちらがアプローチを変える

家族支援の視点



「家族としてのケアを求めているかもしれない」

本人支援の協力者であるが...

「本人とは別に個人的なサポートが必要な状況であるかもしれない」

「ひきこもりと発達障害」



りかばくん

札幌市ひきこもり地域支援センターの取組内容

ひきこもりご本人・ご家族等の相談、同行支援、状況によって関係機関との連携



精神保健福祉士
安保 麻衣子様

『ひきこもり』とは・・・

- ①6か月以上社会参加がない
- ②家族以外と交流がない
- ③非精神病性である

実際は病気、障がいの診断がつく人は多い。

受診の必要性の見極めが必要

診断がつく事で生き辛さの説明がつくことも。

発達障がい



普通になりたいけどもう遅い。どうすればよいかわからない。

普通じゃない自分はおかしい。

理解してもらえない。責められている。

理解しようとする姿勢を見せて欲しい。

かかわいのポイント

- ・曖昧な表現、ニュアンスは伝わりにくいので避ける。
- ・本人の困り感を自覚した時に医療受診に関心を示す。

連携で大切な事

家族または本人が孤立しないように相談を続ける事、途切れない事。

～グループワーク～

「感想・日々の対応で困っていることや成功体験など」



- ・対象者だけでなく家族に問題があるケースが多くなっていると感じる。
- ・対象者が亡くなり支援が途絶えた後、残された家族が心配。
- ・当事者は困っていない場合が多く、介入が難しい。
- ・担当していた高齢者が、生前、引きこもりの息子の事を心配していたので、見守り体制を作って必要な資源につなげたことがある（CM）。
- ・受け入れ先が充足しているのか、どんな事業があるのか知らなかった。



ご意見・感想～アンケートより



訪問していると家族が引きこもりや障がいを抱えている方も多々お会いするので、世帯支援と考えた時に他分野との連携は大事だと思います。

福祉領域や医療での各々の視点の相違や新たな着眼点を得る事の良さがあった。講師の方のお話を聞いて、他人ごとではなく我こととして感じる事ができた。



様々な職種の方の意見を聞く事ができ、対面で会えて良かったです。より今後の連携のしやすさにつながったと思います。

「基本と対応を改めて確認する事ができました。」

「施設に持ち帰り職員に伝達したい内容が多かった。」



普段接することがない職種の皆さんと実際に顔を合わせることで以前より気軽に相談してみようかなと感じることが出来たのではないのでしょうか？
今後もこのような機会が持てると良いですね。
企画運営の皆さま、ありがとうございました。

また、次回も参加させてください



発行元

清田区第1地域包括支援センター

☎ 011-888-1717

清田区第2地域包括支援センター

☎ 011-887-5588